

| | | | | | |
|---|--|---|--|--|------------|
| 苫小牧工業高等専門学校 | | 開講年度 | 平成30年度 (2018年度) | 授業科目 | 国語 I (現代文) |
| 科目基礎情報 | | | | | |
| 科目番号 | 0001 | | 科目区分 | 一般 / 必修 | |
| 授業形態 | 授業 | | 単位の種別と単位数 | 履修単位: 2 | |
| 開設学科 | 創造工学科 (一般科目) | | 対象学年 | 1 | |
| 開設期 | 通年 | | 週時間数 | 前期:2 後期:2 | |
| 教科書/教材 | 『国語総合 改訂版 現代文編』 (大修館書店) / 参考図書は適宜紹介する | | | | |
| 担当教員 | 蓼沼 正美 | | | | |
| 到達目標 | | | | | |
| 1、文章の構成や展開に注意して、主題や要旨を捉えることができる。 2、文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わうことができる。 3、文章を読んでももの見方、感じ方、考え方を広くし、人間、社会、自然などについて考えを深めることができる。 4、常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書くことができる。 5、語句の意味、用法を理解し、正しく使うことができる。 | | | | | |
| ループリック | | | | | |
| | 理想的な到達レベルの目安 | 標準的な到達レベルの目安 | 未到達レベルの目安 | | |
| 1、文章の構成や展開に注意して、主題や要旨を捉えることができる。 | 文章の構成や展開に注意して、主題や要旨を的確に捉えることができる。 | 文章の構成や展開に注意して、主題や要旨をある程度の確に捉えることができる。 | 文章の構成や展開に注意して、主題や要旨を捉えることができない。 | | |
| 2、文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わうことができる。 | 文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して的確に読み味わうことができる。 | 文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即してある程度の確に読み味わうことができる。 | 文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わうことができない。 | | |
| 3、文章を読んでももの見方、感じ方、考え方を深めることができる。 | 文章を読んでももの見方、感じ方、考え方を的確に深めることができる。 | 文章を読んでももの見方、感じ方、考え方をある程度の確に深めることができる。 | 文章を読んでももの見方、感じ方、考え方を深めることができない。 | | |
| 4、常用漢字について、その読みに慣れるとともに、主な常用漢字を書くことができる。 | 常用漢字について、的確にその読みに慣れるとともに、主な常用漢字を書くことができる。 | 常用漢字について、ある程度の確にその読みに慣れるとともに、主な常用漢字を書くことができる。 | 常用漢字について、その読みに慣れるとともに、主な常用漢字を書くことができない。 | | |
| 5、語句の意味、用法を理解し、的確に使うことができる。 | 語句の意味、用法を理解し、的確に使うことができる。 | 語句の意味、用法を理解し、ある程度の確に使うことができる。 | 語句の意味、用法を理解し、的確に使うことができない。 | | |
| 学科の到達目標項目との関係 | | | | | |
| 教育方法等 | | | | | |
| 概要 | 様々な文章を読んで、国語を適切に表現し的確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力を伸ばし心情を豊かにし、言語感覚を磨き、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図る態度を育てる。 | | | | |
| 授業の進め方・方法 | 現代文 (「国語 I」の70点分) の評価について 中間試験40%、定期試験40%、提出課題等20%の割合で評価する。 「国語 I」の評価について 現代文 (70点分) と表現・古文 (30点分) の評価を合算して算出し、その合格点は60点である。 なお、前期成績及び学年末成績が60点未満の場合は、再試験を実施することがある。但し、再試験を受けた場合の成績は、前期成績及び学年末成績とも60点を上限とする。 | | | | |
| 注意点 | 教科書、ノートは毎時間、国語便覧、国語辞書等は、必要に応じて適宜準備をする。授業で扱う教材については、必ず授業前に目を通しておき、授業後は教授された内容を確認しながら、再度教材にあたっておくようにすること。 | | | | |
| 授業計画 | | | | | |
| | | 週 | 授業内容 | 週ごとの到達目標 | |
| 前期 | 1stQ | 1週 | オリエンテーション 論理的表現 (評論) を読む 「他者を理解するということ」 (鷲田清一) | 授業の目的・方針等を理解する。 語句の意味、用法を理解し、的確に使うことができる。 | |
| | | 2週 | 「他者を理解するということ」 (鷲田清一) | 文章を読んでももの見方、感じ方、考え方を深めることができる。 | |
| | | 3週 | 「他者を理解するということ」 (鷲田清一) | 文章を読んでももの見方、感じ方、考え方を深めることができる。 | |
| | | 4週 | 「他者を理解するということ」 (鷲田清一) | 文章の構成や展開に注意して、主題や要旨を捉えることができる。 | |
| | | 5週 | 「空気を読む」 (香山リカ) | 語句の意味、用法を理解し、的確に使うことができる。 | |
| | | 6週 | 「空気を読む」 (香山リカ) | 文章を読んでももの見方、感じ方、考え方を深めることができる。 | |
| | | 7週 | 「空気を読む」 (香山リカ) | 文章の構成や展開に注意して、主題や要旨を捉えることができる。 | |
| | | 8週 | 中間試験 | これまでの授業内容を確認する。 | |
| | 2ndQ | 9週 | 文学的表現 (小説) を読む 新思潮派及び芥川龍之介について | 新思潮派及び芥川龍之介について理解することができる。 | |
| | | 10週 | 『羅生門』 (芥川龍之介) | 文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わうことができる。 | |
| | | 11週 | 『羅生門』 (芥川龍之介) | 文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わうことができる。 | |
| | | 12週 | 『羅生門』 (芥川龍之介) | 文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わうことができる。 | |
| | | 13週 | 『羅生門』 (芥川龍之介) | 文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わうことができる。 | |
| | | 14週 | 『羅生門』 (芥川龍之介) | 文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わうことができる。 | |
| | | 15週 | 『羅生門』 (芥川龍之介) | 文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わうことができる。 | |

| | | | | |
|--------|------|---------|---|--------------------------------------|
| | | 16週 | | |
| 後期 | 3rdQ | 1週 | 『羅生門』（芥川龍之介） | 文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わうことができる。 |
| | | 2週 | 『羅生門』（芥川龍之介） | 文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して読み味わうことができる。 |
| | | 3週 | 論理的表現（評論）を読む 「自然と人間の関係をとおして考える」（内山節） | 語句の意味、用法を理解し、的確に使うことができる。 |
| | | 4週 | 「自然と人間の関係をとおして考える」（内山節） | 文章を読んでものの見方、感じ方、考え方を深めることができる。 |
| | | 5週 | 「自然と人間の関係をとおして考える」（内山節） | 文章を読んでものの見方、感じ方、考え方を深めることができる。 |
| | | 6週 | 「自然と人間の関係をとおして考える」（内山節） | 文章を読んでものの見方、感じ方、考え方を深めることができる。 |
| | | 7週 | 「自然と人間の関係をとおして考える」（内山節） | 文章の構成や展開に注意して、主題や要旨を捉えることができる。 |
| | | 8週 | 中間試験 | これまでの授業内容を確認する。 |
| | 4thQ | 9週 | 論理的表現（評論）を読む 「グローバル化とグローバリズム」（平川克美） | 語句の意味、用法を理解し、的確に使うことができる。 |
| | | 10週 | 「グローバル化とグローバリズム」（平川克美） | 文章を読んでものの見方、感じ方、考え方を深めることができる。 |
| | | 11週 | 「グローバル化とグローバリズム」（平川克美） | 文章を読んでものの見方、感じ方、考え方を深めることができる。 |
| | | 12週 | 「グローバル化とグローバリズム」（平川克美） | 文章の構成や展開に注意して、主題や要旨を捉えることができる。 |
| | | 13週 | 「メディアとしての顔」（原島博） | 語句の意味、用法を理解し、的確に使うことができる。 |
| | | 14週 | 「メディアとしての顔」（原島博） | 文章を読んでものの見方、感じ方、考え方を深めることができる。 |
| | | 15週 | 「メディアとしての顔」（原島博） | 文章の構成や展開に注意して、主題や要旨を捉えることができる。 |
| | | 16週 | | |
| 評価割合 | | | | |
| | | 中間・定期試験 | 課題 | 合計 |
| 総合評価割合 | | 80 | 20 | 100 |
| 一般的能力 | | 80 | 20 | 100 |